

成績概要書(2008年1月作成)

研究課題 : ぶどうの品種特性

(ぶどう新品種育成試験)

(「種なしぶどう」の品種選定と高品質果実生産技術の確立)

担当分署 : 中央農試作物研究部果樹科

協力分担 :

予算区分 : 道費

研究期間 : 2000～2007年度(平成12～19年度)

1. 目的 現在、道内で栽培されるぶどうのうち、醸造用では高品質で耐寒性の強い品種、生食用では需要の低下が著しい「キャンベルアーリー」に代わる良食味品種が求められている。そこで道外で育成されたぶどう品種・系統について、栽培特性・果実品質・耐寒性などの特性を明らかにし、北海道に適応する品種を選定する。

2. 方法

1) 醸造用ぶどうの品種特性 供試系統 「山梨38号」、「山梨44号」、標準品種「セイベル13053」、比較品種「ツバイゲルトレーベ」。2000年定植 定植時樹齢1年生

調査項目; 生育相、樹体生育、発芽率、樹勢、収穫期、収量、果実品質、酒質

2) 生食用ぶどうの品種特性 供試品種 「甲斐美嶺(かいみれい)」、「サニールージュ」(ジベレリン(以下GA)処理無核品種)、標準品種「キャンベルアーリー」(有核品種)、比較品種「デラウェア」、「バッファロー」(GA処理無核品種)、2001年定植 定植時樹齢2年生

試験場所; 長沼町(無加温ハウス)、仁木町(露地)

調査項目; 生育相、樹体生育、発芽率、樹勢、収穫期、収量、果実品質

3. 成果の概要

1) 醸造用ぶどうの品種特性(表1、4)

「山梨38号」; 10月中下旬に収穫できる赤ワイン用の醸造専用系統である。果汁糖度は18～19%、酸度は1.2g/100ml程度で、やや高い。酒質は、標準品種並の酸味で、ワイン色はやや薄い。官能評価では、「バランスがよい」などの評価がされた。耐寒性は「やや強」であり、果実品質・酒質が良好であることから有望な系統である。

「山梨44号」; 10月中下旬に収穫できる赤ワイン用の醸造専用系統である。果汁糖度は約19%、酸度は1.2g/100ml程度で、やや高い。酒質は、標準品種と比べ酸味がやや強く、ワイン色は濃い。官能評価では、「しっかりした味わい」などの評価がされた。耐寒性は「強」、収量が多く、果実品質・酒質が良好であることから有望な系統である。

2) 生食用ぶどうの品種特性(表2、3、4)

「サニールージュ」; 果皮は赤紫色、満開期と満開10日後のGA処理(各25ppm)で無核化する種なし品種。樹勢はやや強い。収穫期は「デラウェア」よりやや遅く、仁木町露地栽培で9月20日前後。露地栽培も可能だが、裂果が多い年もあることからハウス栽培が有効である。糖度は17～18%程度で「キャンベルアーリー」より明らか高い。酸度は0.6g/100ml程度。果粒重は5～6g程度で「キャンベルアーリー」よりやや大きい。適度な香りがあり食味はかなり良く品質が優れることから、種なしぶどうとして有望な品種である。

「甲斐美嶺」; 果皮が黄緑色、満開期と満開10日後のGA処理(各25ppm)で無核化する種なし品種。樹勢は強い。収穫期は「キャンベルアーリー」と同時期、仁木町露地栽培で9月末～10月始め頃。開花直前～開花始期に花穂先端を10cm程度残すように整房すると良形の房になる。糖度は18%程度、酸度は0.7～0.8g/100ml程度。果粒重は4g。種なしで食味は良く品質が優れるが耐寒性がやや弱い。

表1 醸造用ぶどう系統の特性

品種・系統	樹体						収穫・果実特性						酒質			
	供試樹数	枯死樹数	発芽期	発芽率(%)	満開期	樹勢	耐寒性	収穫盛期	収量(kg/樹)	果房重(g)	果皮色	糖度(Brix%)	酸度(g/100ml)	総酸(g/100ml)	OD530nm	酒色濃淡
山梨38号	5	0	5/24	62	7/11	やや強	やや強	10/17	1.9	203	紫黒	18.5	1.20	0.61	1.93	やや薄
山梨44号	5	1	5/20	77	7/10	やや強	強	10/14	3.5	171	紫黒	18.9	1.22	0.80	4.66	濃
セイベル13053 (標準品種)	5	1	5/18	77	7/4	中	強	10/15	3.6	112	紫黒	19.6	0.91	0.50	1.84	やや薄
ツバイゲルトレーベ (比較品種)	5	3	5/20	69	7/10	中	中	10/14	2.0	210	紫黒	19.0	0.96	0.62	2.62	中

生育相は2002～2007年、発芽率は2003～2007年、収量は2004～2007年の平均、果実品質は2003～2007年の平均。

酒質の値は、2004～2006年の平均。ただし、「山梨38号」については2004～2005年の平均。

ワインは中央農試産果実を用い、山梨県果樹試験場にて醸造した。

表2 生食用ぶどう品種の生育相・収量・樹体生育・果実品質

場所	品種名	供試樹数	枯死樹数	発芽率(%)	発芽期(月日)	満開期(月日)	ジベレリン処理		収穫期(月日)	収量/樹(kg)	果房重(g)	果粒重(g)	糖度(Brix%)	酸度(g/100ml)
							1回目	2回目						
長沼ハ	サニールージュ	2	0	65	5/15	6/24	6/24	7/5	9/5	69.5	366	5.6	17.3	0.56
	甲斐美嶺	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	キャンベルアーリー(標準)	2	0	67	5/15	6/22	-	-	9/20	98.3	421	5.0	15.8	0.71
	デラウェア(比較)	2	0	50	5/16	6/21	6/12	7/2	8/27	29.1	165	2.2	20.8	0.71
仁木露地	サニールージュ	2	0	60	5/14	7/4	7/4	7/17	9/19	53.7	330	5.7	17.5	0.77
	甲斐美嶺	4	2	80	5/15	7/4	7/4	7/17	9/28	39.7	303	3.9	18.3	0.76
	キャンベルアーリー(標準)	2	1	82	5/14	6/30	-	-	9/29	46.7	335	5.3	15.5	0.76
	デラウェア(比較)	2	0	59	5/14	6/29	6/19	7/15	9/9	60.7	141	1.8	21.0	0.86

発芽率は2006、2007年平均、収量は2002年～2007年累積、その他は2002年～2007年平均

枯死原因:「甲斐美嶺」長沼は2003年凍害による。仁木は2004年台風で葉に被害を受けたため。「キャンベルアーリー」は折損。

表3 生食用ぶどう品種の果実形質・抵抗性等

品種・系統名	花振	着粒	果粒形	果皮色	はく皮	果肉特性	果肉硬度	香り	食味	脱粒性	裂果	耐寒性	べと病
サニールージュ	少	密	短楕円	赤紫	中	中間	中	弱フォクシー	かなり良	中	やや多	やや強	多
甲斐美嶺	中	中	円	黄緑	中	中間	中	弱フォクシー	良	中	中	やや弱	多
キャンベルアーリー	少	密	円	紫黒	易	塊状	硬	フォクシー	中	中	少	強	少
デラウェア	少	密	円	赤褐	易	塊状	中	その他	やや良	中	少	やや強	少
バッファロー	少	やや密	短楕円	紫黒	易	中間	中	その他	良	易	中	中	少

表4 各品種・系統の総合評価

品種・系統名	優点	欠点	概評	総合評価
山梨38号	耐寒性やや強。良好なバランスの酒質。	ワイン色がやや薄い。	耐寒性がやや強く、赤ワイン用として有望。	○
山梨44号	耐寒性強。ワイン色が濃厚。収量が多い。	酸がやや高い。	耐寒性が強く、豊産性。赤ワイン用として有望。	○
サニールージュ	食味かなり良い。果粒大きい。GA処理期が判断しやすい。	裂果がやや多い。べと病多。	種なしで品質優良。ハウス栽培向き。	○
甲斐美嶺	食味良い。GA処理期が判断しやすい。	耐寒性やや弱い。べと病多。	品質良いが、凍害に注意。	△

総合評価 ○:有望 △:有用な形質を持つが、問題となる欠点を持つ ×:本道での栽培には向かない

#### 4. 成果の活用面と留意点

- ・ぶどう産地における品種導入において活用する。
- ・「山梨38号」「山梨44号」は全道の醸造用ぶどう栽培地域で栽培可能である。「サニールージュ」はハウス栽培を基本とし、全道の生食用ぶどう栽培地域で栽培可能である。
- ・冬期は枝おろしを行う。着果過多などで耐寒性が低下しないよう注意する。また、生食用2品種はべと病の防除を行う必要がある。
- ・醸造用系統の「山梨38号」は「ビジュノワール」として出願公表中であり、「山梨44号」は品種登録準備中であるため、苗木の販売までには数年を要する。

#### 5. 残された問題とその対応

醸造用系統について北海道内メーカーによる酒質評価を引き続き行う。

